

## 服装・頭髪規定および生活態度について（78 回生・79 回生）

### 1 制服

#### 男子

- 男子制服は黒の詰襟学生服（標準学生服マーク付）とする。下には必ず白無地カッターシャツを着用し、セーター、トレーナーのみの着用は認めない。右襟に校章・左襟に学年章をつけ、第 1 ボタンからとめる。
- 夏季は本校指定の白無地カッターシャツを着用し、インナーは白・黒・紺・ベージュ・グレーの無地のものとする。カッターシャツの上に本校指定のベスト、セーターを着用してもよい。
- ベルトは華美でないものを着用し、正しい位置で留め、ズボンをずらさない。

#### 女子

- 女子制服はセーラー服とプリーツ型スカートとする。下に着用するアンダーシャツやセーターの類が制服の外に出ないようにする。必要に応じて夏服の上にカーディガンを着用してもよい。
- スカートの丈は、膝下が隠れる長さとし、折り返したり、ずらしたりして丈の長さを変えないようにする。
- ネクタイはポリエステル製の紺色で、底辺 120 cm、高さ 60 cmの三角形とする。

#### 共通

- 制服は袖を折らずに着用する。ただし、長袖夏服の袖は折り曲げて着用してもよいが、肘まで折り曲げて着用する。
- 夏季は本校指定のポロシャツを着用してもよい。

### 2 靴

- 白無地、白を基調とする運動靴。または黒のローファーとする。  
ローファーは、ペニーローファー(スクールローファー)とし、厚底は禁止する。

### 3 靴 下

- 色は白・黒・濃紺（ワンポイント程度は可）で、くるぶしが完全に隠れるものを着用する。
- 式典（入学式、卒業式、蜻蛉会入会式、始業式、終業式）時は、全員黒または濃紺で統一する。
- 冬季は、肌色(自然色)ストッキング又は、黒タイツを使用してもよい。

### 4 防寒具・防寒着

- 防寒着の着用は登下校時に上着のみとし、校舎内では原則着用しない。ただし、学校指定のカーディガン（エンブレム付き）についてはこの限りでない。カーディガン着用時には、ボタンをすべてとめる。
- 防寒着は、ナイロン製のウインドブレーカー（部活動で使用している防寒着など）・薄手のダウンジャケット・薄手のハーフコートなどとし、革・毛皮などは着用しない。着丈は膝丈とし、靴か個人ロッカーに収納できるものとする。

### 5 頭髪等

- 端正な髪形を心がける。前髪は目にかからない程度とし、襟にかかる髪は 1 つないし 2 つに分けて束ねる。
- カールやパーマ、編み込みや脱色、染色など手を加えない。また、整髪料は使用しない。
- 髪飾り等のアクセサリはつけない。髪止めは黒・紺・茶色等のゴム紐で束ねる。
- マニキュアやピアス、化粧はしない。

### 6 鞆

- 通学の際は、原則として学校指定の鞆とするが、荷物の大小により他のカバンのみを使用してもよい。使用する鞆は必ずファスナー等で口が閉まるものとする。

### 7 自転車通学について

- 自転車通学を希望する生徒は学校に届け出る。
- 変形ハンドルの自転車は禁止する。
- 荷物は鞆を荷台にくくりつけるかリュックを背負い、前かごに荷物を置かない。
- 自転車通学生の雨具はレインコートとし、傘をさして運転しない。
- 電動アシスト付自転車は届け出により許可する。
- 自転車を運転する際はヘルメットをかぶるように努める。

### 8 スマートフォンの取り扱いについて

- 学校内では電源を切り、学校内及び学校付近では原則使用しない。
- ウェアラブル端末はスマートフォンの扱いに準ずることを原則とする。

### 9 登下校中の態度

- 通学手段の如何にかかわらず、交通法規、マナーに留意し、他人に迷惑のかからないように努める。

## 服装・頭髪規定および生活態度について（80回生）

### 1 制服

- 本校指定の制服を着用する。
- ブレザーは上のボタンを留めて着用する。
- 指定された日（入学式、卒業式など）はブレザーを着用し、ネクタイかリボンを装着する。  
カッターシャツは1番上のボタン、袖ボタンまで留める。
- 授業日は気温などに合わせてネクタイ・リボンを外し、カッターシャツの1番上のボタンを外してもよい。
- カッターシャツの下に着用するインナーは、白・黒・紺・ベージュ・グレーの無地のものとする。
- ポロシャツは1番上のボタンを外して着用してもよい。また、裾はスラックス、スカートの上に出してもよい。インナーを着用する場合はカッターシャツに準ずる。
- スラックス着用の際は必ずベルトを装着する。ベルトの色は華美でないものとする。
- スカートの丈は膝にかかる程度とする。

### 2 靴

- 白無地、白を基調とする運動靴。または黒のローファーとする。  
ローファーは、ペニーローファー(スクールローファー)とし、厚底は禁止する。

### 3 靴下

- 色は白・黒・濃紺（ワンポイント程度は可）で、くるぶしが完全に隠れるものを着用する。
- 式典時は、全員黒または濃紺で統一する。
- 冬季は、肌色(自然色)ストッキング又は、黒タイツを使用してもよい。

### 4 防寒具・防寒着

- 防寒着の着用は登下校時に上着のみとし、校舎内では原則着用しない。
- 防寒着は、ナイロン製のウインドブレーカー（部活動で使用している防寒着など）・薄手のダウンジャケット・薄手のハーフコートなどとし、革・毛皮などは着用しない。着丈は膝丈とし、鞆か個人ロッカーに収納できるものとする。

### 5 頭髪等

- 端正な髪形を心がける。前髪は目にかからない程度とし、襟にかかる髪は1つないし2つに分けて束ねる。
- カールやパーマ、編み込みや脱色、染色など手を加えない。また、整髪料は使用しない。
- 髪飾り等のアクセサリはつけない。髪止めは黒・紺・茶色等のゴム紐で束ねる。
- マニキュアやピアス、化粧はしない。

### 6 鞆

- 通学の際は、原則として学校指定の鞆とするが、荷物の大小により他のカバンのみを使用してもよい。使用する鞆は必ずファスナー等で口が閉まるものとする。

### 7 自転車通学について

- 自転車通学を希望する生徒は学校に届け出る。
- 変形ハンドルの自転車は禁止する。
- 荷物は鞆を荷台にくくりつけるかリュックを背負い、前かごに荷物を置かない。
- 自転車通学生の雨具はレインコートとし、傘をさして運転しない。
- 電動アシスト付自転車は届け出により許可する。
- 自転車を運転する際はヘルメットをかぶるように努める。

### 8 スマートフォンの取り扱いについて

- 学校内では電源を切り、学校内及び学校付近では原則使用しない。
- ウェアラブル端末はスマートフォンの扱いに準ずることを原則とする。

### 9 登下校中の態度

- 通学手段の如何にかかわらず、交通法規、マナーに留意し、他人に迷惑のかからないように努める。